

相合橋

相合橋は道頓堀川に架かる他の橋に比べやや遅く、1680年代に架けられた。当時は新中橋あるいは中橋と呼ばれており、後に相合橋となった。昭和58年に川の上の憩いの場として整備された。顕彰碑は橋上の西側に設置されている。また、北詰には食満南北の句碑が据えられている。

交通 近鉄、地下鉄日本橋駅下車、北西へ300m

日本橋・下大和橋

日本橋は江戸時代には重要な道の一つであった紀州街道に架かる公儀橋であった。明治10年に鉄橋化されたことからその重要性がうかがえる。現在の橋は地下鉄建設に伴い、昭和44年に架け換えられたもので、高欄の樹形のパネルは画家のデザインによるものである。顕彰碑は北詰東側にある。

下大和橋は正徳5年(1715)に初演された近松門左衛門の「生玉心中」の一場面となっており、そこでは「大和橋」と表現されていた。現在の橋は昭和55年に架けられ、橋面及び橋詰が整備された。北詰東側の広場に先代の親柱と顕彰碑が設置されている。

交通 近鉄、地下鉄日本橋駅下車、北へ200mで日本橋、そこから東へ300m行くと下大和橋

淀川・神崎川を中心に

雪鯨橋

宝暦6年(1756)、東淀川区にある瑞光寺と紀州太地との関わりから、高欄に鯨の骨を使った珍しい橋がつくられた。現在の高欄は昭和49年に太地町の協力でつくられたもので、5代目になるという。

交通 阪急上新庄駅下車、東南へ300m、瑞光寺境内



三国橋

旧能勢街道が神崎川を渡る地点で、古くから渡し場のあったところ。橋が架かったのは明治になってからで、現在の橋は昭和36年に完成。顕彰碑は南詰め西側にある。

交通 阪急三国駅下車、北へ100m



神崎橋

旧中国街道が神崎川を渡るところで、古くは神崎の渡しがあった。昭和28年に架けられた先代の橋は、わが国で最初の合成桁橋であった。現在、橋の高欄には弥生時代から古墳時代にかけて用いられた直弧文の文様が用いられている。顕彰碑は東詰南側の歩道内にある。

交通 JR加島駅下車、北西へ800mまたは阪急十三駅から市バス(幹97)で神崎橋下車、西へ250m



長柄橋

古代の大阪は淀川と大和川の河口が1箇所に集まっていたため洪水が頻繁に起こった。ちょうどその辺りにあったと言われる長柄橋は、架けても架けても流されたため悲しい「人柱」伝説が生まれることになった。そうした説話の主人公である「藏氏」の碑がJR東淀川駅近くの大願寺に立っている。

長柄橋が現在の場所に架けられたのは、大阪を洪水から守るために行われた新淀川(現在の淀川)の開削工事の後、明治42年のことである。その後昭和11年に近代橋に架け換えられたが、第二次世界大戦末期に直撃弾を受けて橋桁が損傷、多数の犠牲者が出た。南詰東側にはこれを供養するための観音像が建てられ、当時の弾痕が残されている。現在の長柄橋は昭和58年に架け換えられたもので、南詰の親柱には橋の由来を、北詰の親柱には古今集の和歌二首が刻まれている。また北詰東側の堤防上に明治42年当時の親柱が残されている。

交通 地下鉄天神橋筋6丁目駅下車、北へ900m、市バス(幹37、特27)長柄橋南詰停留所下車すぐ



毛馬橋・春風橋

毛馬橋は、京街道へ通じる道筋にあたり、古くから渡し場が置かれていた。ここに橋が架けられたのは大正になってからで、その時の竣工記念碑が東詰北側に、顕彰碑が東詰南側に設置されている。

毛馬桜之宮公園内の城北川に架かる春風橋は昭和53年完成の自転車歩行者専用橋で、毛馬で生まれた俳人・謝蕪村の句『春風や堤長うして家遠し』から名づけられた。親柱に刻まれた文字は蕪村の筆跡を複製したもの。

交通 地下鉄都島駅下車、都島工業高校の前を通り、大川の東岸を北へ(1km)



とよさとおおはし 豊里大橋

大阪市で初めての本格的な斜張橋として昭和45年に架けられた豊里大橋は、それまでは「平田の渡し」のあったところ。この渡しは元禄時代にはすでにあったとされる歴史の古い渡しであった。北詰西側と南詰東側に同じ内容の顕彰碑が設置されている。

交通 地下鉄太子橋今市駅下車、北へ400m
京阪土居駅下車、北へ600m



じゅうそうおおはし 十三大橋

旧中国街道が旧中津川を渡る地点にあたり、古くから渡し場があった。現在の橋は昭和7年完成。中央部には重厚なアーチ橋が5つ連なり、淀川を渡る幹線道路にふさわしい雄大な景観をつくっている。顕彰碑は北詰東側にある。

交通 阪急十三駅下車、南へ500m、
又は中津駅下車、北へ500m



りょくちにしはし ふるいちばし 緑地西橋・古市橋

緑地西橋は、花博記念公園・鶴見緑地内に架かる橋で、1990年に開かれた国際花と緑の博覧会の会期中は京阪間目駅からの歩行者ルートとして利用された。この橋には、橋の本体とは別に両外側にトラスが架けられているが、これは旧心斎橋を形態保存するためにここに移されたものである。

古市橋は、昭和初期に開削された城北運河に架けられた橋で、旧京街道の道筋にあたる。顕彰碑は東側の高欄にはめこまれている。 **交通** 地下鉄鶴見緑地駅下車、公園内を西へ1km（緑地西橋）、京阪森小路駅下車、西へ100m（古市橋）



旧心斎橋を保存した緑地西橋



木津川付近と大阪市南部

あしかわはし ごくらくはし 安治川橋・極楽橋

安治川橋は元禄11年（1698）にはじめて架けられた。明治に入るとこの辺り一帯は外国人居留地として、洋館が建てられ舗装道路も建設されて大阪の文明開化の拠点となった。明治6年に架けられた橋はマストの高い船が通れるように一部が旋回橋になっていたため、回転の際の動きを見て当時の人は「磁石橋」と呼んだという。この橋は明治18年の大洪水のときに通水のために爆破され、その後木橋として復活したが、それも明治末期ごろにはなくなってしまった。その後ここには橋は架けられず、西区側に顕彰碑が建てられている。

福島区玉川4丁目、あさひ銀行の北東角に「極楽橋遺址」と書かれた大きな石碑が立っている。極楽橋は旧野田村の水路に架かっていた橋と思われるが、詳しいことはよく分からない。

交通 安治川橋は地下鉄阿波座駅下車、西北へ500m。極楽橋は地下鉄玉川駅下車すぐ



明治初年の安治川橋（神戸市立博物館蔵）



きづがわばし まつしまばし
木津川橋・松島橋

木津川橋は慶応4年(1868)に架けられたときは新大橋と呼ばれていた。大正2年、市電事業により本町通がつくられたときに立派なアーチ橋になったが、高潮対策事業で昭和41年に架け換えられ、現在に至っている。先代のアーチ橋のデザインは今の本町橋(東横堀川)に見ることができる。顕彰碑は東詰北側に設置されている。

かつて松島橋の辺りは樹齢300年といわれる名松があったことから松島の地名がつけられた。明治に入って木津川の渡しを廃止し、松島橋が架けられた。西詰の公園内に入るとすぐ北側に顕彰碑がある。
交通 木津川橋は地下鉄阿波座駅から北西へ300m。松島橋は地下鉄西長堀駅から西へ500m

だいにしょうばし
大正橋

旧大正橋は、工業地帯として急速に発展していた大正区と旧市内とを結ぶ幹線道路として、大正4年に初めて架けられた。支間長90mという当時日本で最大のアーチ橋であったが、設計基準の確立されていない時代に設計されたということもあって傷みが激しく、都市計画道路の拡幅を機に下流側に新しい橋が架けられ、昭和46年に撤去された。その後上流側への拡幅が行われ、昭和52年に現在の姿になった。

東詰北側には小広場が整備されたが、その中には安政2年(1855)に、前年大坂を襲った大津波の模様を記録した大きな碑が建てられている。

交通 JR、地下鉄大正駅下車、北へ200m、地下鉄大阪ドーム前千代崎駅下車、南へ200m



旧大正橋

ざこばし
雑喉場橋

雑喉場橋のあった辺りは、江戸時代には雑喉場の魚市と呼ばれ、大坂三大市場の一つとして大坂人の台所をまかなっていたが、昭和6年に中央卸売市場の開設によりその歴史を閉じた。本町通北側歩道には、顕彰碑とともに大正11年に改築されたときの親柱と当時の照明灯が復元されている。

交通 地下鉄阿波座駅下車、北西へ200m

えいたいばし ちんひばし
永代橋・門樋橋

永代橋は海部堀川開削当時からあり、干魚の荷揚げ場や市場で賑わっていた永代浜に通じる歴史ある橋であった。門樋橋ははじめは通常の橋ではなく門樋(水門)であった名残が橋名になっている。これらの橋も昭和26年に海部堀川が埋め立てられると同時に撤去された。現在、なにわ筋の東側歩道に2つの橋の顕彰碑が設置されている

交通 地下鉄本町駅下車、西へ350m

めいじばし
明治橋

旧立売堀川に架かっていた明治橋の名は、明治9年に架けられたことに由来している。高欄には「みおつくし」に萩の文様をあしらった当時としては珍しいデザイン。昭和31年に立売堀川の埋め立てと同時に撤去された。なにわ筋の西側歩道に顕彰碑が設置されている。

交通 地下鉄西大橋駅下車、北へ400m

そりばし
住吉大社 反橋

住吉大社の境内、社殿前の池に架かる橋。反りの大きな太鼓橋で池の面に映る朱塗りの欄干が美しい。橋の東南には川端康成の短編「反橋」にちなんだ文学碑が建てられている。

交通 南海住吉大社駅下車、東へ100m、又は阪堺電車住吉鳥居前駅下車すぐ



反橋
(住吉大社提供)

たてはらばし みどりばし
楯原橋・緑橋

この辺りは古代には百済郡と呼ばれ、朝鮮からの渡来人が定住し、日本へ先進的な仏教文化が伝えられたところ。両橋には百済の象徴である百済瓦の文様をデザインに取り入れて、歴史を顕彰している。楯原橋には単弁の軒丸瓦の文様を高欄のデザインに使用し、花卉模様の舗装を施している。緑橋(写真)には軒丸瓦を模した円板が高欄に取り付けられている。

交通 天王寺駅から市バス(特6)で湯里5丁目下車、東へ200m、又は近鉄針中野駅下車、東南へ800m



ひめまつばし おはらいばし やまとばし
姫松橋・御祓橋・大和橋

姫松橋が架かる辺りは、美しい松原の海岸だったところで、江戸時代中ごろに新田開発のため埋め立てられ川として残った。現在の橋は昭和60年に架け替えられたもの。北詰西側に顕彰碑がある。

旧紀州街道に架かる御祓橋は、住吉大社の大祓の祭にちなんで名づけられたと伝えられる。顕彰碑は北詰東側に設置されている。

大和橋は、今の和川が開削された宝永元年(1704)、紀州街道に架けられた公儀橋で、江戸時代、和川にはこの橋しかなかった。現在の橋は昭和49年に完成した斜張橋。

顕彰碑は北詰西側にある。

交通 姫松橋は地下鉄住之江公園駅から市バス(幹48)で姫松橋下車すぐ。御祓橋は阪堺電車總井川駅下車すぐ。大和橋は阪堺電車我孫子道駅下車、紀州街道を南へ400m



大阪市橋梁顕彰碑ガイドマップ



町名に使われている橋

今橋(中央区)、小橋(天王寺区、生野区)、高麗橋(中央区)、心齋橋(中央区)、太子橋(旭区)、鶴見橋(西成区)、天神橋(北区)、天満橋(北区、中央区)、長橋(西成区)、日本橋(中央区、浪速区)、農人橋(中央区)、本町橋(中央区)

駅名に使われている橋

朝潮橋(地下鉄)、芦原橋(JR)、阿部野橋(近鉄)、京橋(JR、京阪、地下鉄)、汐見橋(南海)、心齋橋(地下鉄)、鶴橋(JR、近鉄、地下鉄)、天神橋(阪急、地下鉄)、天満橋(京阪、地下鉄)、長堀橋(地下鉄)、西大橋(地下鉄)、日本橋(近鉄、地下鉄)、肥後橋(地下鉄)、深江橋(地下鉄)、緑橋(地下鉄)、四ツ橋(地下鉄)、淀屋橋(京阪、地下鉄)

青字は現存していない橋